

# 「失敗恐れず挑戦を」

## 中野プランツ社長 働く意義語る

松陽高



企業経営について語る中野プランツの中野哲郎社長＝松陽高校

### 高砂

東播地域の企業経営者が高校生に働く意義を伝える出前授業が23日、高砂市曾根町の松陽高校であった。

同市の発電プラント建設会社「中野プランツ」の中野哲郎社長が、1、2年生約400人を前に「失敗を恐れず挑戦を」と呼び掛けた。加古川納税協会が企画。

高校生たちに将来の地元就職を考えるきっかけにしてもらおうと、東播2市2町

の高校に呼び掛けた。さまざまな経営者が講師を務め、3月まで5校計6回行う予定。

中野社長は30代前半で父親から同社を引き継いだ。就任当初は社員をまとめられず、「上から目線だったと思う。原因は自分にあったと反省した」と振り返った。京セラ名誉会長の稲盛和夫氏の「盛和塾」で経営哲学を学び、「肯定的に物事を考えることが人生を好転させる。成功の反対は挑戦しないこと。失敗しても次に生かすように心掛けている」と語った。

看護師を目指す1年生溝口涼太郎さん(16)は「前向きに取り組む姿勢が大切だと感じた」と話した。

(若林幹夫)